

保護者の皆様へ

昨年末から警戒していた新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）は、ご存じのとおり本県においても予想を上回るスピードで感染が拡大し、1月21日（金）には、小林市も「（赤）感染急増圏域」に指定されました。

今回の感染状況を見ますと、特に、感染者全体の10パーセント程度を10歳未満の子どもが占めていることや、通常の学校生活においてもクラスター的な感染が見られることに十分な注意を払う必要があると考えます。

本校におきましては、保護者の皆様が早い段階で学校に情報を提供していただき、可能性の段階で登校を見合わせるなどの対応をとっていただいているおかげで、学校での感染を防ぐことができているものと考えます。校内でも、現在、休業明けからの「感染防止重点期間」を延長するとともに、集団生活のリスクを減らすためのさらなる対策の実行について検討しているところです。

一方で、無症状の感染者が多いことも今回のウイルスの特徴であり、感染拡大の要因となっていることをみんなで共通理解しておきたいと思います。だれもが感染する、感染させる可能性があるという心構えが一人一人の予防策の動機となり、また、身近に感染が迫ったときの冷静な行動につながるものと考えます。

今後とも、どのような事態におきましても子どもの命と安全を守ることを第一に考え、子どもたちの心に影響がないよう最大限の注意を払ってまいります。やむを得ず急な計画の変更や対応をお願いする事態が生じることも考えられますので、今後とも学校からの連絡にご配慮いただき、御理解のほどよろしくお願いいたします。

コロナに強い南小、コロナに負けない南小、コロナに関わる人に優しい南小を引き続き継続し、みんなが心を一つに乗り越えましょう。

令和4年1月25日

校長 吉井 秀一